

オープンデータの活用法



安東伸昭

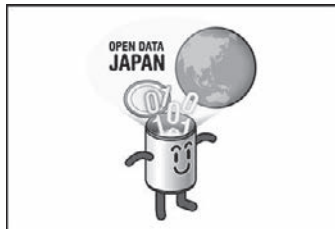
オープンデータ

問 津山市は、平成28年12月1日よりオープンデータ（※）を公開したが、その活用方法は。

答 データを公開し、民間ならではの発想により有益なシステムや、アプリケーションを開発していただき行政の透明性・信頼性の向上、行政の効率化、官民協働の推進と地域課題の解決を図る。

定住自立圏

問 定住自立圏の今後の取り組みで、不揃いな足並みをどう調整するのか。



様々なオープンデータの案内、検索を行っているウェブサイト「データカタログサイト」

答 事業を進めていく中で相互が理解を深めながら、新たな取り組みを含め、幅広い連携を働きかけていく。

防災

問 「地区防災計画」の取り組みとは。

答 今年度、津山市城西地区が、内閣府モデル事業を受け、策定に取り組んでいる。

全国で進む夜間中学設置の動き



日本共産党
津山市議員
中村聖二郎

教育

問 夜間中学は、全国に31校あり、1800人余りの生徒が在籍している。中学校に行けなかった子、もう一度勉強したい子のために津山にも開設できないか。

答 夜間中学については、不登校のため学校に通えないまま中学校を卒業した方々にも、教育の機会を提供していくことを期待されており、文部科学省においては事例研究や広報活動が行われている。その他にも何らかの理由で、来

日したものの様々な事情で義務教育を受けることが出来なかった方々の学び場となっている。現時点で設置については考えていない。



わが市にも夜間中学を（文部科学省のホームページから引用）

その他の質問項目

◆ 観光振興と今後の
◆ 部落差別の解消の推進に関する法律

西上山形線道路改良工事の説明は



市政会
松本義隆

地域要望

問 平成28年6月議会で取り上げた西上山形線道路改良工事の私の質問に対し、市長は元の町内会長に整備方針を説明したと答弁したが、地元町内会長は説明を受けていないと憤慨しているがどう思うか。

答 関係する2人の町内会長に待避所等の方針を口頭で説明した。

問 こんな大事なことを口頭だけでいいのか。

答 担当者から説明されたということ

とを言った。

問 新市建設計画は、その事業を担保したものでないと答弁したが間違っているのでは。

答 時代、財政、地域のバランスなど総合的に判断した。

問 財源は、地域づくり基金と合併特例債があったのではないか。

答 全市的に状況を見て判断をしている。



西上山形線